

2012年(平成24年)1月21日(土曜日)

# 都内に「庄内坂」

## 慣れ親しんだ「荘内館」を記憶に刻む

### 駒込学生会館に通じる坂道に命名

東京都北区で本県出身者のための学生会館を運営する「やまがた育英会」

(加藤五郎代表理事)は、学生会館の駒込学生会館に通じる坂道を「庄内坂」と命名した。前身の荘内館のことを未永く記憶にとめてもらおうと命名したもので、17日に関係者が石標の除幕を行った。

### 石標建立 地元と祝う

やまがた育英会は2008年4月に旧荘内館と旧山形育英会が合併して新たにスタート。現在の駒込学生会館は長い歴史を持つ荘内館の跡地に新築された。しかし、学生寮から「庄内(荘内)」の文字が消えたことを惜しむ声が卒業生や近隣住民から多く寄せられ、JRの線路沿いの学生会寮に

通じる坂に名前を残し、家18代当主で致道博物館みんなの記憶にとめて、長の酒井忠久さんが揮毫してもらおうと企画した。

敷地内の道路側に御影石の石標を建立。「庄内」の文字は庄内藩酒井の文字に感銘を受けた。

### OBや住民の声にこたえる



酒井さんが揮毫した「庄内坂」の石標



そして地元の声にこたえることができて良かった、酒井館長は「荘内館には大学に入った当初に父と一緒に来たことがあるが、当時の印象とはがらりと変わっている。勉強する環境として実に素晴らしい所だ」とあいさつ。

また、来賓として出席した地元・中里町自治会の町田初枝副会長は「地元にとっては戦前から慣れ親しんできた『しょうない』の名前が合併で消えたのは寂しかった。地元の坂の名前として永久に残ることになって大変うれしい」と感謝の言葉を述べた。

この日は育英会の理事や現役の寮生らが出席。建立を祝つた上で、「これからも地元と一層交流していこうと誓った。石標の除幕を行うやまがた育英会などの関係者